

卒業式 式辞

本格的な春の訪れが、そこかしこで感じられる季節となつてまいりました。本日、ここに平成 29 年度卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。

本学での学びを終え、本日ここに、晴れて卒業を迎えられた皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

全教職員を代表して、お祝い申し上げます。そして、ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げるとともに、これまで学生の皆さんの成長をしっかりと支え、見守り続けてくださいましたことに、深く敬意を表します。

また、ご臨席賜りましたご来賓の皆様には、卒業生の晴れの門出をともに祝つていただき、誠にありがとうございます。

ただいま、大学 284 人、短期大学部 182 人、計 466 人の卒業生に「卒業証書・学位記」を授与いたしました。4 年間、3 年間、2 年間、学びの期間はさまざまですが、この「卒業証書・学位記」は、皆さんがそれぞれの学部・学科で勉学に励み、兵庫大学、兵庫大学短期大学部での学びを終えられた証です。

そして本日は、多くの人に支えられ、見守られて、学生生活を送り、これから、社会人としての歩みが始まるという節目の日でもあります。

卒業生の皆さん。われわれ教職員の共通の願いは、全ての方が社会の一員として、社会に貢献し、幸せで豊かな人生を送ってほしいということです。

これから始まる長い人生において、たくましく、そしてしなやかに歩んでいかれることを願っています。

さて、皆さんは、兵庫大学、兵庫大学短期大学部で何を学んで来られたでしょうか。資格を取得したり、なりたい職業に就くために、専門分野や関心に応じた知識をそれぞれ精一杯に吸収されてきたことと思います。

せっかく得た知識ですから、活用しなければなりません。知識は所有するものではなく、活用し、発展させることで、本当の価値を発揮します。これからは、得た知識を何のために、どのように生かしていくかが問われます。

皆さんは、その活かし方も在学中に多くを学んでいるはずです。難しい課題に対して、仲間と共に努力し、支え合い、分かち合うことで、乗り越えてきた経験が、必ずや皆さんの一生の財産となると信じています。

卒業生の皆さんが本学で身につけられたものには、今お話しした知識や知識を探究する姿勢とともに、「和」の精神があったことを今一度思い起こしていただきたいと思います。

本学の建学の精神は、ご存知のとおり、聖徳太子の17条憲法に示された「和」です。聖徳太子は、多くの名言と呼ばれるものを残していますが、一貫して「和」を基本としています。

そこでは、自分の心を大切にしながら、他者の心も大切にす、他者の思いを受け入れることが説かれています。一言で表現すれば、「互いを尊び 互いを活かしあう」ということではないでしょうか。

本学は学校法人睦学園に設置された大学、短大ですが、「和」の精神を具現化する行動規範である「学園訓」として、「感謝」「寛容」「互譲」が掲げられています。

人として感じる心、共感する心、人への慈しみの心、思いやりに溢れた心を大切にしてほしいと思います。

さて、最後に、卒業していく皆さんに、お伝えしておきたいことがあります。これから皆さんが歩む長い人生は、無限の可能性を秘めています。ただ、これまでの人生の中で体験したことのないような大きな壁にぶつかることもあるでしょう。

そのような時には、大学、短期大学での学びや経験を基礎としながら、さらに学び、柔軟な思考を巡らせ、乗り越えていただきたいと思います。そのためにも、皆さんにはぜひ、それぞれが置かれた場所で、さらに研鑽を積んでいただきたいと思います。日々の生活の中から、さまざまなことを見て、感じて聴き入って考える、その姿勢が、皆さんの個性、智慧となり、問題を解決してくれるはずです。

それでもなお、壁を乗り越えれそうにない時は、私たちに訪ねてください。もし皆さんが、これからの人生の中で孤独に苛まれるようなことがあったとして

も、決して一人ぼっちではないことを思い出してください。私たちは常にあなた達と共にあります。

いつでも帰っていらっしゃい。

それでは、卒業生の皆さんが、これからの長い人生をしっかりと歩まれ、健康で幸せでありますことを、心より念じまして、平成 29 年度卒業式の式辞とします。

平成 30 年 3 月 23 日